

大志

加賀市議会議員 辰川志郎 議会だより



平成30年12月30日発行
第19号

平成三十年度第四回 加賀市議会定例会

北陸新幹線金沢駅開業から早くも四年になろうとしています。これから四年後の敦賀延伸に向けての新幹線工事が現在急ピッチで進められ、工事による経済効果は加賀市においてもかなり上がっています。敦賀まで延伸されると観光産業をはじめ他の産業においても更なる経済効果が期待されます。特に加賀市では九谷焼。山中塗などの地場産業をはじめ、農業、漁業などの地産地消を進め、観光客の二次観光における施設の整備を急がなければならない。



九谷1号窯跡に復元されたレプリカ 山中温泉九谷町

〈質問〉

現在、山中温泉九谷町で進められている国史跡「九谷磁器窯跡」復元工事においての設計から施工までの経緯について問う。また、今後の保存活用についてどのような計画か。

【答弁者】 観光戦略部長

九谷磁器窯跡復元工事の整備については、考古学専門の学識経験者や行政機関の職員及び九谷焼に携わる地元関係者からなる「整備委員会」や

「専門委員会」を平成十七年度に立ち上げた。九谷焼に携わる地元関係者の中には、九谷焼作家である加賀九谷陶磁器協同組合の代表者や古九谷修古祭実行委員会の委員である日本陶磁器協会九谷後援会に所属する方を整備委員会委員として教育委員会が委嘱している。また、専門委員会の委員としても、別の九谷焼作家の方が選任されている。

保存及び活用については、九谷磁器窯跡の本質的価値が、

江戸時代初期の磁器生産にかける遺構が一体的に残ることにあり、必要となる各遺構を史跡公園として公開することで九谷焼を後世に伝えることができる、さらに、市内の関連施設である九谷焼美術館や九谷焼窯跡展示館と連携し、回遊する工夫を講じることで市民や観光客に九谷焼をより理解していただき、九谷焼のふるさととして情報発信ができるかと考える。

【私見】

「整備委員会」や「専門委員会」のメンバーで復元工事を進められた結果がこのような結果であり、メンバーの質に対して疑問を持つ。

山中温泉九谷町で発見された窯跡は九谷焼の発祥地として全国にアピールできる貴重な遺跡である。その窯跡の上に土でかさ上げをし、このようなレプリカを乗せてしまったことが問題である。本来の窯跡が破壊され、想像で作られたレプリカには多くの九谷

焼ファンに衝撃を与えてしまった。今後は発見された当時の窯跡にもどすべきと考える。

大聖寺十万石城下町整備

〈質問〉

「大聖寺十万石城下町整備」について現在の進捗状況を問う。

〔答弁者〕 観光戦略部長

大聖寺は、大聖寺藩の城下町としての町割りや、国指定重要文化財の「江沼神社長流亭」などの歴史的建造物、市指定文化財の「旧新家住宅」などの歴史的建造物、江戸時代から受け継がれている「お松雛子」などの伝統文化が多く残されている地区である。このような歴史的文化を資産として活用したまちづくりとした史跡再生事業として、これまで江沼神社の旧藩邸河道の復元整備や、大聖寺城跡の発掘調査を行ってきたが、地域全体の整備を行うには、多

大な事業費を必要とする。

このため、歴史街づくり法に基づく国の補助事業制度を活用した事業実施に向け、その条件となる「加賀市歴史的風致維持向上計画」策定を建設部と連携して、今年度より協議を進め、この計画に大聖寺十万石城下町史跡再生関連の事業を反映させる。

「加賀市歴史的風致維持向上計画」の策定は、八月に国土交通省との協議を始めたところであり、平成三十一年度を目標に国の認定を目指すところである。

なお、「旧新家住宅」については、今後の整備に向けて関係機関との協議を進める。

【私見】

観光加賀市として大聖寺の歴史を資源とした活用は重要な課題である。市内の温泉に宿泊した二次観光として山下寺院群や九谷焼美術館等は整備されているが、藩政時代の歴史資料や文化遺産などを一同に展示する施設や錦城山

を開発し、公園化する事業はまだ進行していない。事業実施に向けた「加賀市歴史的風致維持向上計画」が協議を始めた以上は、一日も早く県と国との連携を進め、実施するべきである。

〈質問〉

現在、実性院は住職不在により、管理者がいないと聞く

が管理体制はどのようになっているのか。また、今後の維持管理に関して、市としての対応策はあるのか。

〔答弁者〕 観光戦略部長

実性院は大聖寺山ノ下寺院群の一角に位置する曹洞宗寺院で、大聖寺歴代藩主の菩提寺である。創建年については、大聖寺藩政について記される

「日記頭書」によれば、実性院の建造については寛文五年（1655年）であると記されている。

実性院には、大聖寺藩王及び、妻子の墓石を一同に会した「大聖寺藩主前田家一族廟所」を史跡として、平成二十二年に、市内に現存する江戸初期の曹洞宗寺院の特徴をよく伝える「本堂」と大名家の



実性院



大聖寺藩歴代藩士の墓

「御霊屋」を建造物として平成二十三年にそれぞれ加賀市指定文化財として登録している。

維持管理については任職亡き後、檀家総代の方が中心となり、周囲と相談しながら管理をされている。

今年度も屋根の一部やふすまの修理について助成しており、市としても今後も文化財の維持管理上で必要な助成を行っていく。

【私見】

実性院は創建三百七十年以上もの歴史を持つ重要な文化遺産である。現在は住職亡き後も檀家さんが維持管理をされているが、市としても物的支援も必要ではあるが、もっと人的支援もするべきではないだろうか。

歴代藩主一族の墓石が一同に揃うのは全国にも例は少ない。また、萩の名所としても訪れる観光客は多い。

オリンピック・パラリンピックの事前合宿について

〈質問〉

オリンピック・パラリンピックの事前合宿について、ポルトガルの柔道選手の事前合宿が進行しているようだが、加賀市の施設を利用したその他の競技の事前合宿の誘致計画はあるのだろうか。

【答弁者】 教育長

「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前合宿の実現に向け、平成二十八年度から本市の体育施設において受け入れが可能と思われる「バドミントン競技」と「卓球競技」について、本市と交流のあるシンガポール、台湾への誘致活動を行ってきた。

シンガポールオリンピック委員会としては競技や種目別ではなく、シンガポールオリンピック選手団全体としての受け入れが第一条件であることから、本市では事前合

宿ではなく、今後、事後合宿ホストタウンを目指して誘致活動を行う。

台湾については、引き続き事前合宿の誘致を進めているが、本市と台湾双方において盛んな「空手競技」を誘致種目に加え、加賀市空手道連盟とも連携を図りながら、誘致を進めているところである。

その他としてもオリンピック組織委員会が行っている「事前トレーニングオンラインガイド」事業において「加賀市スポーツセンターを紹介して」「トランポリン競技」と「空手道競技」について、各国に対しての誘致活動を行っている。

【私見】

オリンピック選手が加賀市に訪れ、長期にわたって合宿をすることは、加賀市にとっては大きなメリットとなる。まず、選手や関係者の宿泊などの経済効果。身近に選手を見ることによる地元青少年の競技力向上、観光加賀市を

内外にアピールし、将来の経済効果を期待するなど、経済効果は計り知れない。是非、誘致を実現するべきである。

市内小・中学校のエアコン整備について

〈質問〉

来年度中に全対象校にエアコンの整備を目指す。とあるが、夏までに市内全ての小・中学校普通教室に設置することとは可能か。また普通教室以外の教室の整備計画はどうなっているのか。また、整備工事費全体について、国、県、市の負担割合はどのようになっているのか。

【答弁者】 教育委員会事務局

市内小・中学校の普通教室のエアコン設置については、文部科学省の「冷房設備対応臨時特例交付金」を活用して、全ての未設置校で一斉に整備することとした。

今回のエアコン設置は十六

校と、多くの学校で行うため、施工業者の確保も課題となっている。また、授業への影響も考慮すると、工事を行える曜日や時期にも制限が予想される。そのため、工事の完了時期については、来年夏までの工事完了は困難であるが、できる限り早期に完了できる様努力する。

【私見】

今年は記録的な猛暑により、全国の小・中学校においては授業に差支えがあるほど被害が大きかった。そのため、政府は全国の小・中学校にエアコン設置のための予算を前倒ししてくれた。しかし、せっかくの予算が付いたにも関わらず市内の小・中学校では夏までの設置には間に合わないという。これから六か月以上もあるのに児童・生徒の気持ちを考えれば一日も早く実施するべきと考える。

北方領土（国後島・色丹島）を訪ねて

8月23日から27日にかけて北方四島訪問団の一員として参加しました。

目的は現地のロシア人との交流を図り、相互理解を深めて北方領土問題の解決促進に資するためであり、全国から政府機関、国会議員、報道機関、大学教授、医師、元住民を含む65名の参加でした。



こども園



図書館



博物館



雅楽



パンで歓迎



墓参



運転手と



ホームビジット



水産加工工場

この会報へのご意見をお聞かせ下さい。

<http://www.tatsukawa.jpn.com>
E-mail: daishimore21@yahoo.co.jp

平成三十年最後の本会議となりました。二〇二三年延伸予定の新幹線、金沢―敦賀間の市内における工事が着々と進められています。これが実現されると加賀市を訪れる観光客はますます増加されると次観光として、「大聖寺十万石城下町」、「九谷磁器窯跡」も新たな名所として観光客に満足されるよう整備を急ぐ必要があります。特に「九谷磁器窯跡」は九谷という地名の地で発見され、九谷焼発祥の地であることを全国に発信できる貴重な史跡であります。

編集後記